

国土交通大臣政務官 朝日 健太郎 殿

要 望 書

令和2年10月

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

北陸新幹線については、太平洋側の高速鉄道網の代替補完機能を日本海側に形成することにより、国土の脆弱性を克服し、国土強靱化を強力に進める国家施策であります。

また、今後回復すると見込まれる観光ニーズに備え、国内の快適な移動を実現するとともに、移住定住など地方創生に寄与する交通インフラであります。

本市としましては、新幹線開業の経済波及効果を高め、地域経済の活性化に結びつけていくためには、着実な敦賀開業と周辺地域との連携による駅の広域的な拠点機能の充実強化が極めて重要と考えております。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 着実な敦賀開業と早期の全線開業について

令和4年度末の敦賀開業を実現できるよう関係機関一体となって整備を推進するとともに、敦賀・大阪間については、敦賀開業後の切れ目のない整備により、一日も早い全線開業を実現すること。

2 広域的な拠点機能強化と都市施設の同時開業について

北陸新幹線全線開業までの間、敦賀駅は福井県嶺南地域や滋賀県北部をはじめとした周辺地域の玄関口としての役割を担うことから、駅構内における広域的な情報発信など拠点機能の充実強化を図るとともに、駅前広場やアクセス道路など関連都市施設も同時に供用開始できるよう協力すること。

3 敦賀開業後の利便性確保と自治体負担軽減について

敦賀駅までの北陸新幹線の運行本数は金沢駅と同数程度とするなど北陸新幹線沿線地域間との利便性の向上を図るとともに、並行在来線についても積極的に支援し自治体負担の軽減に努めること。

令和2年10月22日

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

会長（敦賀市長） 淵上隆信